

2008 年度 名古屋研修旅行 名古屋で留学生とプロジェクトワークをしました

日本文学科で日本語教育を学んでいる 2 年生 14 名が、2009 年 2 月 17 日(火)から 21 日(土)の 4 泊 5 日の日程で、名古屋研修旅行に出かけてきました。名古屋市にある南山大学留学生別科を訪れ、留学生とともに名古屋文化について調査するインタビュープロジェクトを実施。留学生 3 名と本学の学生 2 名が一つのグループになり、「日系ブラジル人」や「名古屋の行政～国際交流」など 7 つのテーマについて調査し、発表しました。テーマについては勿論のこと、異なる文化を持つ者同士の協働学習を通して、座学だけでは学べない異文化コミュニケーションの実際など、多くのことを学ぶことができました。

プロジェクトワークの前に

「今回のプロジェクトワークを成功させるためには、どうしたらいいか」というテーマでブレインストーミング。「たくさん意見を出して相談する」「困っているメンバーがいたら助け合う」「英語は使わない」「一緒にプリクラを撮る」などいろいろなアイデアが出てきました。



ブレインストーミングで共有したアイデアを胸に、グループごとにインタビュー先へ向かい、調査開始。

その翌日はインタビューで得た情報をもとに発表原稿とパワーポイント資料の作成をし、発表会に備えました。

発表会

準備時間、発表時間は限られたものでしたが、それぞれ、その中で最善を尽くしたことが伝わる発表でした。発表の後の質疑応答も活発なものに。



参加者みんなで記念撮影

【参加学生の声】

・留学生の皆さんとたくさん話し、たくさん質問しました。何度も一緒に食事をし、交流を深めることができました。一生懸命に日本語を話し、日本語で表現している留学生の皆さんを心から尊敬します。留学生の皆さんが日本を好きになってくださればいいなああとひたすら願っています。(Kさん)

・日本語教育に携わりたいという気持ちが増えたが、大変さもその数倍感じた。いろいろなアプローチを探って行って、何らかの形で将来の自分の職業にしたい。(Kさん)

・今回のプロジェクトワークを通じて、同じグループの留学生はもちろん、他のグループの留学生と日本語を通じてたくさん交流することができた。様々な国の人々と交流をして、多くの考え方を学ぶことができた。以前授業で習った高コンテキスト文化、低コンテキスト文化を身をもって体験できたことがとても貴重だった(Iさん)